

－ 自由にレイアウトできるネットオフィスのオープンソース・ソフトウェアを公開 －

(概要)

国立情報学研究所(東京都千代田区一ツ橋 所長:坂内正夫(さかうち まさお))は、2001 年から開発を進めてきた情報共有基盤『NetCommons』(<http://www.netcommons.org/>)の普及版 NetCommons Ver.1.0.0 を開発、GPL オープンソース・ソフトウェアとして公開、NetCommons サポートサイトより 8 月 10 日(水)から配布する。

今回の新しいバージョンでは、国内でもっとも普及しているコンテンツ管理システム XOOPS をベースに構築し、NetCommons の柔軟性を活かしながら、さらに e-ラーニング機能およびグループウェアの機能を強化した。

また、個人が情報端末を複数持つ時代の到来にあわせて、サーバ上に個人が気軽にバーチャルオフィスを持つためのツールとしての機能も充実させた。

e-ラーニング基盤および情報共有基盤分野は、アメリカや韓国等外国産のソフトへの依存度が高く、この分野において、大学共同利用機関である国立情報学研究所が安定・継続的に高性能のソフトを、純正オープンソース・ソフトウェアとして提供することは、多様なニーズに応えるとともに、「産学官」だけでなく、新たに「民との連携」を含む広範な普及が期待される。

今後は、初等中等教育も含め、さらには生涯学習におけるコミュニティ形成型の e-ラーニングの基盤として、また NPO やアカデミックドメインにおけるグループウェアとしての普及を目指す。

(経緯・背景)

NetCommons は、2001年度より、国立情報学研究所と(株)NTTデータポケットの産学共同研究の下で、大学やNPOにおけるバーチャルコミュニティ形成を支援することを目標に、コミュニティ形成型遠隔教育システム「e-教室」および、それを発展させ、e-ラーニングサイトおよびバーチャルラボを構築するための情報共有プラットフォームとして開発された。

2003年7月から、大規模実証実験「NetCommons100本プロジェクト」を開始し、大学などの高等教育機関をはじめ、産学連携のグループウェアとして、また、NPOなどのバーチャルオフィスとして90団体が導入、活用し、有効性と利便性の検証を行い、柔軟な構造と直感的な操作性が好評を博している。

このたび、2年間の実証実験を成功裏に終了したことを受け、NetCommonsの成果をより広く社会に還元することを目的に、Ver.1.0.0の公開・配布を実施するものである。

(用語)

- ・XOOPS(ずーぷす)： PHP言語を用いた比較的容易にポータルサイト/コミュニティサイト構築できるGPLに基づくオープンソース・ソフトウェア。
- ・GPL： The GNU General Public License(一般公的使用許諾)。オープンソース・ソフトウェアのライセンスの一形態。再配布や改良を自由に行っても良いが、その際ソースコード開示の義務づけなどの条件が課されている。
- ・コンテンツ管理システム： CMS(content management system)。テキストやグラフィックなどのさまざまなデジタル・コンテンツを統合的に管理し、更新・配信する仕組み、またはそれを実現するソフトウェアの総称。

【お問合せ】 国立情報学研究所 広報普及課 (担当：小野・早川)

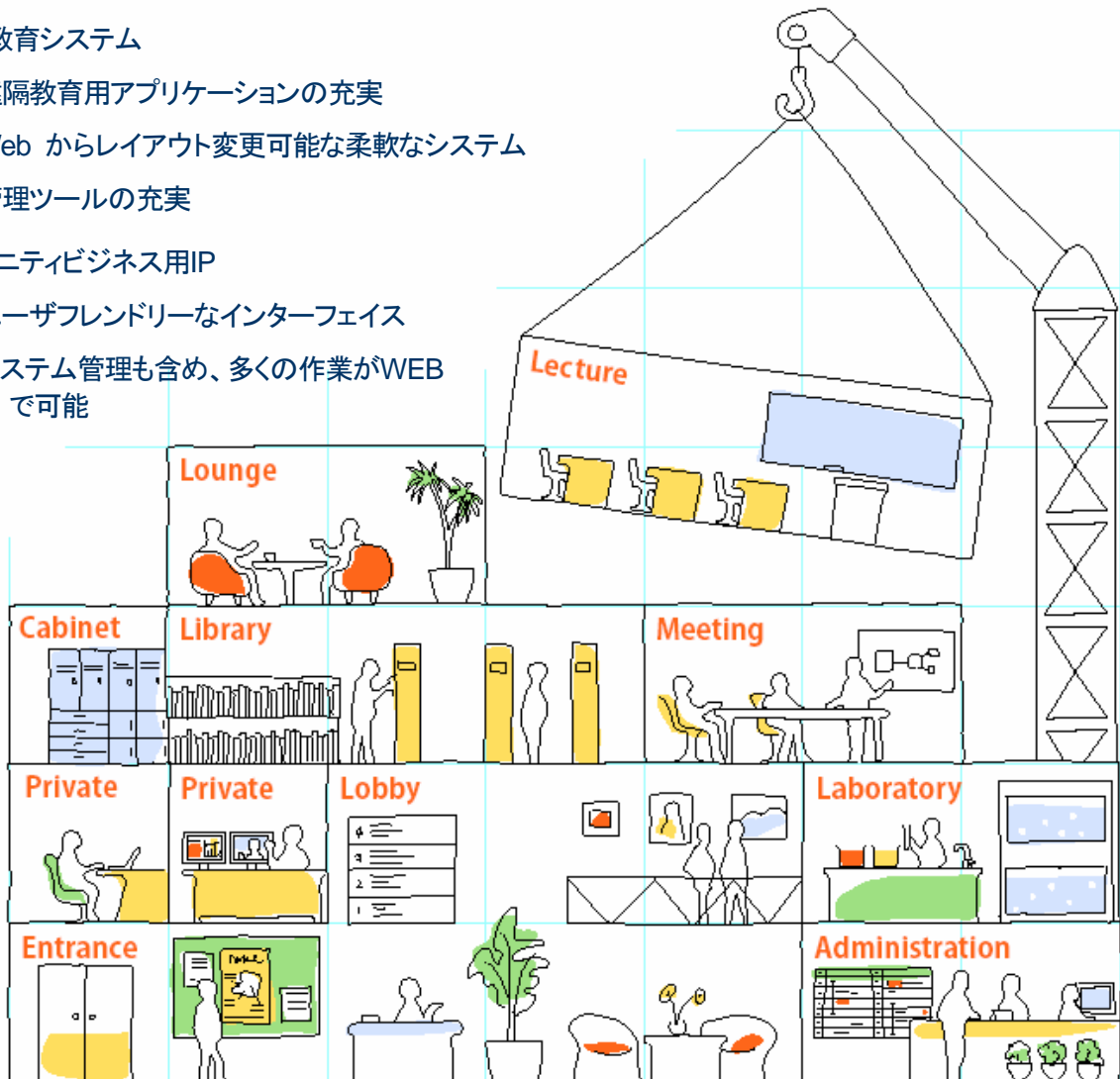
電話：03-4212-2135 FAX：03-4212-2150

e-mail：kouhou@nii.ac.jp

ネット上のオフィスだって 自由にレイアウトしたい



- 情報共有基盤ツール
 - ー データベースと認証システムを備えたIP (Information Portal) 基盤
- 遠隔教育システム
 - ー 遠隔教育用アプリケーションの充実
 - ー Web からレイアウト変更可能な柔軟なシステム
 - ー 管理ツールの充実
- コミュニティビジネス用IP
 - ー ユーザフレンドリーなインターフェイス
 - ー システム管理も含め、多くの作業がWEBで可能



- NetCommons100本プロジェクト
 - ー 約90団体がNetCommons を導入
 - ー 定期的な保守、導入支援
 - ー 導入事例の収集
 - ー 各種団体との共同研究
 - ー 国際化(英語化)

ここでニュースを読む。
ここにファイルを保管する。
ここに置いたリンクリストからネット上を移動する。
ここで会議を開く。
ここでレポートを書く。
ここで調査をする。
ここでスケジュールを調整する。
ここで共同研究をする。

今日からネットが私のオフィスになる